



大部っ子

大部小だより

令和5年2月

「やさしく かしこく たくましく」－自ら学び、ともに生きる児童の育成－

文責：学校長



光陰矢の如し

吉岡 優

令和4年度も残すところ2か月となりました。みなさんは、「光陰矢の如し(こういんやのごとし)」という諺(ことわざ)をご存じでしょうか。光は『日』で、陰は『月』を表していて、『光陰』は月日や年月の比喻(例え)の表現です。『矢の如し』は「飛ぶ矢のように早い」ことを指します。英語では奇遇ですが同じ例えで<Time flies like an arrow.>とあります。意味は「歳月がたつのがとても早い」ことを言い表し、さらには「月日がたつのは非常に早く、一度放たれた矢は二度と戻ってこない。人生を大切にしよう。」という戒め(いましめ)の意味も含んでいるそうです。



さて、「ジャネの法則」をご存じでしょうか。19世紀のフランスの哲学者・ポール・ジャネが発案しました。「年をとるほど時間が経つのが早く感じられる」という現象を数式化したものです。高校で学ぶ指数・対数、あるいは微分積分で表せるということです。難しく感じるかもしれませんが、そのような主観的に記憶される年月の長さは「年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる」という現象を心理学的に説明したものです。例えば、30歳の人間にとって一年の長さは人生の30分の1ほどですが、3歳の人間にとっては3分の1に相当します。つまり、30歳の人にとっての10年間は、3歳の人にとっての一年間にあたり、3歳の人にとっての一日は、30歳の人にとっての10日にあたることとなります。

つまり、物理的長さは同じであっても子どもたちの1日は私たちの1日とは違って体感的に長いのでとても大切だといえます。2時間ゲームや娯楽の動画を鑑賞する子どもは私たちが20時間ぶっ通しでゲームをし、時間を無駄にするのと等しいのです。また、人生100年時代といわれますが、同法則から「0歳から20歳の体感時間と20歳から100歳までの体感時間は同じ」と導き出されることから少し怖い話ですが「20歳で人生の半分を終えている」ともいえるそうなのです。ですから子どもたちの今のがんばりは人生を生き抜くうえで本当に重要であって、一瞬たりとも無駄にできないということです。だからこそ、私たち大人は特に子どもたちの時間の使い方に細心の注意を払って注視していく必要があります。規則正しい生活と学習習慣を今一度学校でも家庭でも共有していきたいと強く感じています。

1月の大部の子どもたち

1月25日（水）大部小は一面銀世界に包まれました。報道では「10年に一度の大寒波」とありました。気温計は氷点下を指し、本当に寒い一日となりました。しかし、「子どもは風の子」とよく言ったもので、寒さをものともせず、授業が始まるまで、休み時間など雪をかき集めたり、雪だるまをつくったりと日頃できない遊びを満喫していました。



さて、1月の大部小はいつもの教育活動をしっかりと継続して実施できました。感染症等での学級閉鎖などもなく、みんな元気に登校し、勉強し、遊ぶことができました。とりもなおさず、保護者のみなさんの健康管理と、子どもたちの自己管理の賜物と感謝しております。

取組としては11日の書初め大会を皮切りに、17日の1. 17追悼集会、18日の2年生町探検、19日の3年生防災センター見学、20日の全校生オンライン給食指導、21日のPTAリサイクルデー、北播陸上小学生駅伝カーニバル（5年男子2位、5年女子4位：素晴らしい成績です）、23日の特別支援学級の校外学習、5年生（オンライン）プログラミング学習、24日の3年生人と自然の博物館学習、5年生灘浜サイエンススクエア見学、25日の6年プログラミング学習、26日の5年生ダイハツモノづくり体験、27日の3年生小野市小学校オンライン珠算大会などなど、本当にたくさんの学びが予定どおり実施できました。

子どもたちはあと2か月で進級・進学となります。現学年のまとめをしっかりと、次の学年へ好スタートが切れますよう、ご理解とご協力をお願いします。

節分（せつぶん）について

節分とは、「鬼を追い払って新年を迎える、立春の前日の行事」のことです。立春の前日ですが、実は立春の日は年により異なるため2月3日とは限りません。二十四節気において立春は新年の始まりで、節分は大みそか的な日で、江戸時代までは同じように一年の締めくくりの日としての位置づけだったようです。



鬼を追い払う行事は、「おにやらい」（追儺）という宮廷の行事が発祥だそうです。なぜ豆をまくか知っていますか。諸説ありますが、「豆は『魔を滅する＝マメ』に通じ、語呂がいいから」といわれているそうです。行事としては豆まきの他、終鰯（ひいらぎいわし）、恵方（今年は南南東のやや南）巻き、地方によっては落花生をまいたり、節分そばを食べたり…。調べてみるのもいいかもしれませ

h_0